

タイ 2024年の果実・果実加工品輸出実績は83億ドルを見込む

[FreshPlaza 2025年2月10日](#)

タイは果実輸出の9,700万ドルの増加を確保し、2024年の売上高は83億ドルを見込む

商務省は、タイの輸出業者と国際的なバイヤーとの間のビジネスマッチングイベントと覚書(MoU)の調印式を開催した。これらの取り組みにより、輸出額は約9,700万ドル増加すると見込まれている。

ナピントン・スリスンパン商務副大臣は、96のタイの果実輸出企業と、中国、ヨーロッパ、米国、日本、オーストラリア、中東、南アジア、カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム等19の地域の65の輸入業者、バイヤー及び流通業者が参加したと述べた。

ビジネスマッチング活動はオンラインとオンサイト(現地)の両方で行われ、500を超える会合が予定された。同副大臣は、商談により4,200万ドルを超える発注につながる可能性があるとして指摘した。人気の高い商品は、ドリアン、リュウガン、マンゴスチン、ココナッツ、各種フルーツ加工品等であった。

タイの輸出業者と中国、日本、韓国、台湾、インドネシアの貿易パートナーとの間で8つの覚書が締結され、その生鮮果実販売額は合わせて5,500万ドル以上になると予想されている。

その他の取組みとしては、タイの果実の特徴を宣伝するキャラクターの紹介、様々な果実や農産物の展示、調理の実演等が行なわれた。同副大臣は、果実輸出におけるタイの世界的な市場シェアを拡大し、貿易競争力を向上させ、次の収穫期に先立って生鮮果実と果実加工品を国際市場に紹介することが目標であると述べた。

タイは2024年に400万トン以上の生鮮果実と果実加工品を輸出し、総額は前年比2%増の83億ドルを超えると予想されている。

国際貿易振興局(商務省)は、国際モールでの販売促進や世界の見本市での商談など、タイの果実製品を海外市場で宣伝するために30以上のプロジェクトを計画している。

通商政策戦略室(同)によると、タイは2024年に前年比7.5%増となる288億ドル相当の農産物を輸出し、4年連続で増加した。

生鮮、冷蔵、冷凍の果実及びドライフルーツが65億1千万ドルの輸出額で、農産物総輸出額の22.6%を占める最大の輸出品としてランクされ、米、ゴム、鶏肉、キャッサバ製品がそれに続いた。

出典: [Bangkok Post](#)